

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

DST 吻合に対するリークテストの際の直腸内圧測定

[研究責任者]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 外科 國末浩範

[研究の背景]

Double-Stapling Technique(DST)は直腸前方切除術の主な吻合法である。DST 後に発生する縫合不全が問題となるため術中にリークテストを行うことが一般的である。リークテストでリークを認めない場合でも縫合不全が生じることもあり、リークテスト時の吻合部にかかる腸管内圧は果たして十分な圧がかかっているのかという疑問がある。

[研究の目的]

リークテスト時の吻合部にかかる腸管内圧を測定することを目的とした。

[研究の方法]

対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、西暦 2018 年 1 月 1 日から西暦 2018 年 12 月 31 日の間に DST 吻合を伴った大腸癌手術を受けた方

研究期間：

西暦 2019 年 1 月 1 日から西暦 2019 年 6 月 31 日

利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、腫瘍部位、術式、合併症

検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情

報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である國末浩範が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
外科 國末浩範

電話 086-294-9911 (代表)

FAX 086-294-9255 (代表)